

ホワイトリング

ステンレス屋根と壁が
つくるきらめくフォルム。
光、風、水など自然の
エネルギーを活用。

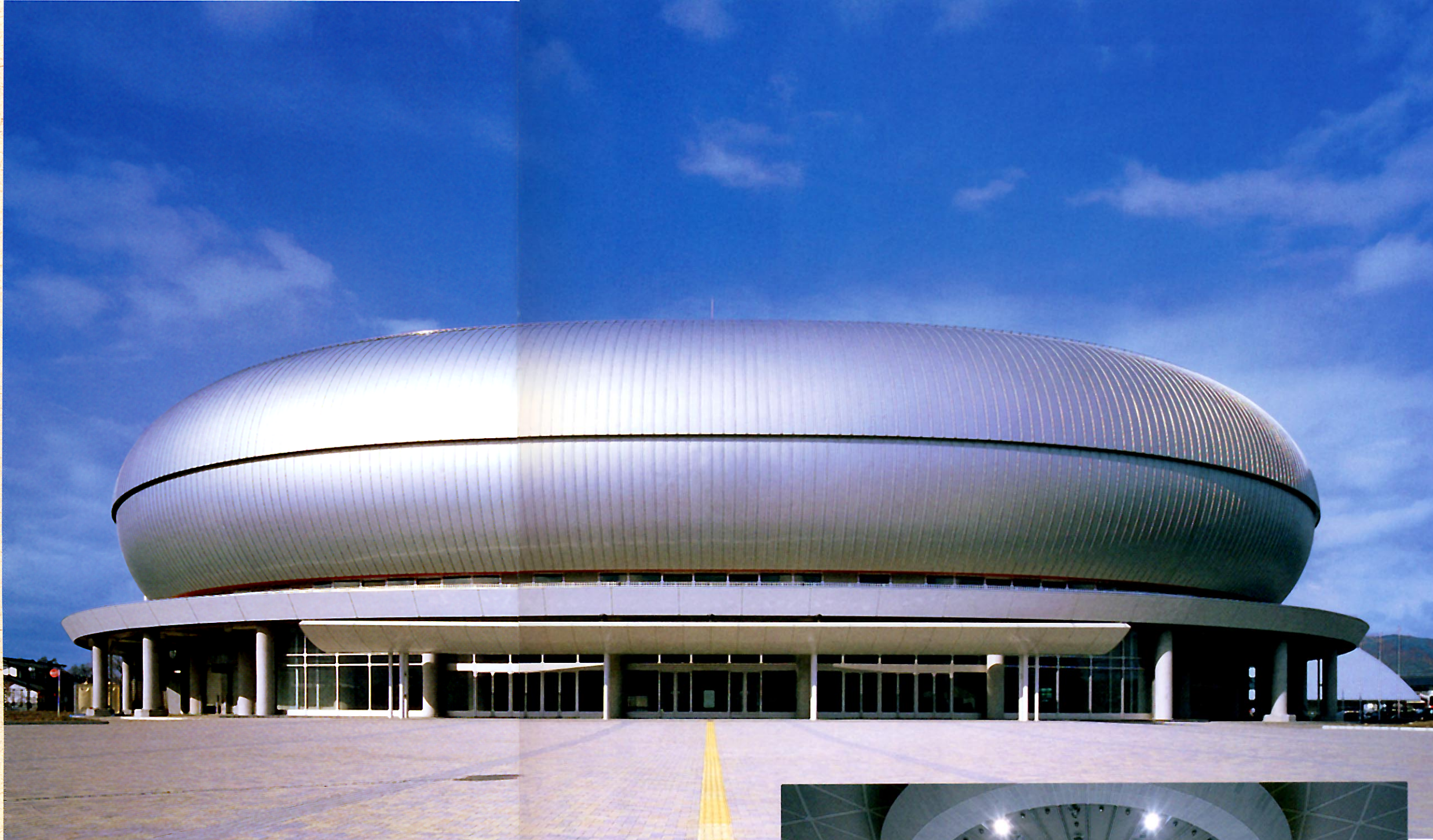
長野市の南、りんご園などが広がる田園地帯の一角、善光寺平と呼ばれる敷地に、ぽつんと大きな水滴がひとつ落ちたような佇まいをみせる、長野市真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）。華麗で優美なフィギュアスケートを意識した、たおやかで、華やかなフォルムは、訪れる人々の心に深く刻まれる強い印象を与えます。内部空間は、フィギュアスケートに求められる、音と光の演出を行なうための近代的な設備を整え、なかでも、天井から連続する曲面壁を吸音性のあるアルミ材とし、暖色系の照明でライトアップすることによりアリーナ全体を暖かい光の輪で包み込むなど、感動を伝える劇的空間として、さまざまな工夫を凝らし、高い演出性を実現しています。また、自然採光、自然通風、地下水の有効利用など、省エネルギーに努めているのも大きな特長となっています。

●施設概要

建物名称：長野市真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）
所在地：長野市真島町真島2268番地1
用途：オリンピック時：フィギュアスケート、
ショートトラックスピードスケート 7,300人収容
オリンピック後：市民総合体育館 5,000席
設計：日建設計
施工：熊谷組・鴻池組・北野建設・北信土建建設共同企業体（建築）
敷地面積：約60,000m²
建築面積：約10,780m²（メイン）、3,110m²（サブ）
延床面積：約16,060m²（メイン）、3,450m²（サブ）
構造：鉄筋コンクリート造 鉄骨造
階数：地上3階
工期：1994年1月～1996年3月（メイン）
1993年9月～1995年3月（サブ）

●納入商品

ロールスクリーン「ソフィー」：191台/2階回廊部
大型アコーディオンドア「ユニフォールド」：4台/
ロッカールーム



ホワイトリング/ロールスクリーン「ソフィー」

遮光生地を使用したロールスクリーンが
回廊全体の光をコントロール。

エントランスロビーとアリーナと観客席の周囲をめぐる回廊部分は吹き抜けとなっており、観客席のざわめきや声援、音楽が伝わります。360度の回廊には、191台のロールスクリーンが設置されており、遮光性の高い暗幕生地を使い、自然採光と人工光の切り替えを容易にし、さらに冷房効率を向上させる役目になっています。



2階回廊の全周に191台のロールスクリーン「ソフィー」を設置。



塩化ビニールにポリエステル繊維をラミネート加工した暗幕生地を使用し遮光性を高めています。



収納時はスクリーンがスッキリと巻き上がります。



1階のロッカールームには、大型アコーディオンドア「ユニフォールド」を採用。用途・目的に合わせて自由に間仕切り可能。